

広報させば 情報カレンダー 06.11月



日	月	火	水	木	金	土
11月は建設雇用改善推進月間 11月11日～12月10日は同和問題啓発強調月間 毎月第1水曜 中小企業金融公庫出張相談 (13～15時、佐世保商工会議所) 毎月第2金曜 発明相談 (10時～15時30分、市役所商工労働課)			1 出前保育「みんなよっといでー」 (8日も) 中小企業金融公庫出張相談	2	3 文化の日 麒麟に接近! 九十九島かき食うカキ祭りミニイベント～5日	4 動物舎探検隊 (18日、12月2日も)
5 ゾウにエサをやるゾウ!、日曜日「シーユーム科学工作教室」 (11日、18日も)	6	7	8 糖尿病展～10日 調理講習会(おやつ編)	9 119番の日	10 市立総合病院の健康教室 発明相談	11 山城跡見学会 市看祭 フラワーフェスティバル2006～12日
12 親子ふれあい環境フェア&させばっ子環境サミット 車いすまち体験	13 スピカカレッジ出前保育「みんなであそぼ!」 (27日も) 年末調整説明会	14	15 保育所体験	16 幼稚園ウイークin佐世保 長崎県公民館大会～17日	17 緑花祭り～26日 大学等新卒者合同企業面談会	18 させば男女共同参画セミナー
19 佐々川干潟観察会、海のフェスティバル・インさせば、動物愛護講演会	20	21	22 市原子力艦原子力防災訓練 調理講習会(パン作り編)(24日も)	23 勤労感謝の日	24 明るい選挙啓発入賞作品展示会～12月1日 ハートビル法・省エネ法出前講座	25 児童・生徒の郷土研究発表会
26	27	28 させば男女共同参画セミナー	29 佐世保養護学校学校公開	30 お茶の間トーク 11月11日 広田地区 18日 中里皆瀬地区 25日 春日地区 12月2日 三川内地区	3日 生きた化石展～来年1月8日 12日 みんなであそぼ 5 13日 明るい選挙啓発入賞作品展示会～20日 19日 健康と福祉フェスティバル&親子であそぼ	
12月上旬の主な行事予定			2日 科学工作教室(9日も) 水産加工まつりin佐世保～3日 3日 大人のための動物園講座、親子物作り教室 お正月を飾る迎春寄せ植え作り講習会 5日 スピカカレッジPart2 10日 親子ロボット教室			

救急・火災

医療機関案内 ☎0956-23-8199  
火災情報 ☎0180-999-999  
Eメール shc783@city.sasebo.lg.jp

教育相談

青少年教育センター ☎0956-22-0077  
(毎月第3日曜の13時～16時には、休日教育相談を受け付けています)

女性相談

スピカ ☎0956-24-6180  
(水曜と祝日を除く毎日、9時～16時)

消費生活相談

市消費生活センター ☎0956-22-2591  
(土・日曜、祝日、年末年始を除く毎日、8時30分～17時15分)

11月の健康テレホン

県保険医協会 ☎0956-23-4300  
3分間のテープで、祝日は前日の内容が流れます  
月 息切れ 火 圧迫骨折  
水 インフルエンザの予防接種  
木 耳閉感について  
金 洗口剤  
土、日 分娩時の大出血  
その 胎盤早期剥離

テレホンガイド

人のうごき (10月1日現在)

総人口 256,687人 (-50)  
男 120,637人 (-23)  
女 136,050人 (-27)  
世帯数 100,692世帯(+2)

9月中のうごき

転入 695 転出 778  
出生 212 死亡 179

見て、聞くさせば市政だより

テレビ 毎週土曜日放送(約5分間)

NBC(9時25分) NIB(11時35分)  
NCC(11時40分) KTN(11時40分)

ラジオ NBC 毎週日曜日 9時25分  
FM長崎 毎週火曜日 9時05分

長崎新聞 毎月第2、4水曜日広告欄

テレビ佐世保 第3月～土曜日 18時45分

こんにちは市長です。

飲酒運転の根絶にご協力ください

ことしも悲惨な飲酒運転事故が後を絶ちません。中でも8月25日の福岡市職員による追突事故は、被害者親子を車ごと海に転落させて、幼い3人の命を奪い、加害者は事故の隠れいを図って逃げ隠れしていたという悪質な事件でした。

こうした事件が起きた後は、誰しも飲酒運転は慎むはずだというのが一般の常識です。しかし、新聞等では9月に入って20日の間で、飲酒運転で検挙された公務員が、少なくとも8人に上り、その内3人は事故を引き起こしていることを伝えています。

本市では、9月議会での厳しい指摘に応え、飲酒運転をした職員は原則的に懲戒免職にするという姿勢で臨むこととしました。わが国では明治時代から麻薬、鉄砲所持については諸外国に比べ特段に重罰が課せられているようです。こうした歴史の中で、この手の犯罪に対する世間の目が極めて厳しくなり、「絶対悪」というような倫理観が芽生え定着してきたように思います。

飲酒運転に対しても重罰で臨まなければ倫理観が定着しないということは悲しいことですが、現実には起きている悲惨な状況をみれば、ドライバーにさらなる自覚を求めるために、このような措置をとることも止むを得ないと思います。飲酒運転をこの佐世保市から根絶するため、市民の皆さまの一層のご協力をお願いします。

佐世保市長 光武 顕

歴史散歩 496

旧皆春邸の句碑(福石町)

本名よりも俳号の皆春で今も人々に記憶されている医師・犬塚赫男氏の旧宅が福石町にあります。次男の雄平さんが営む犬塚病院に隣接し、皆春氏が亡くなられた昭和50年9月11日以降に改築され、現院長の住まいとなっています。緑濃い庭には、皆春氏が昭和12年に建てた句碑が残されています。「句の師であるとともに人生の師」と生前に語り、深く敬慕していた青木月斗(本名・青木新護、明治12[1879]年大阪船場生まれ、薬種問屋。大正10[1921]年ごろ海軍との取引で佐世保を訪れ、佐世保の俳人を指導)の作である「うかうかと 旅の日数や麦黄ばむ」とともに俳聖芭蕉の「春もやや 景色ととのう月と梅」の句、さらに与謝蕪村の俳画「寒念仏」を添えての三人塚という



珍しいものです。

皆春旧宅には、この塚に先立つ昭和9年建立の月斗句碑「初夢の 枕並べし旅寝かな」もあります。この句は大正11年暮れ、月斗が「皆春庵で正月を迎えたい」と前ぶれもなく訪れ、翌12年の雪の正月を長崎での句会で過ごした時の作ということです。

月斗句碑は、このほか九十九島の袋ヶ浦に「九十九島の 一つの島に明易き」(昭和12年)「遠近の 鐘に夕山桜かな」(同)があります。

「遠近の...」の句碑は最初、弓張岳中腹にあった旅館白雲万里荘に建てられ、後に福田町の山水楼に移されましたが、今は両館ともありません。

月斗は東の高浜虚子と並び称せられる近代の俳人。皆春氏は俳人医師4兄弟の次兄で文武両道の達人でした。(筒井隆義)

